

旧第 11 通学区 高等学校教育懇話会 第 1 回会議（内容要旨）

- I 日 時 令和元年 12 月 16 日（月）10:00～12:00
- II 会 場 長野県松本合同庁舎 講堂
- III 出席者 構成員 29 名 別紙（欠席 1 名：安曇野市 P T A 連合会長 北澤氏）
事務局
・市村教育委員会 12 名
・内堀繁利 高校改革推進参与、駒瀬隆 高校改革推進係長、宮澤直哉 主幹指導主事、
柳澤弘蔵 主任指導主事

IV 発言要旨

※全体進行：太田塩尻市子ども教育部次長兼教育総務課長

- 1 開会
- 2 懇話会（経過・要綱・構成員）について（駒瀬係長）
- 3 自己紹介
- 4 座長・副座長の選出
○事務局より提案 ⇒ 承認
座 長 荒井英治郎 信州大学准教授
副座長 赤羽郁夫 松本市教育長
- 5 会議事項（進行：荒井座長）
 - (1) 「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」について（県教委より）
 - 「高校改革 ～夢に挑戦する学び～」(内堀参与)
 - 「高校改革 ～夢に挑戦する学び～」旧第 11 通学区の状況について（駒瀬係長）

【質疑応答】

- 義務教育でも探究活動に取り組んでいる。探究活動に取り組んできた中学生を、高校で、さらにも
のように伸ばすかという視点が大切。（橋渡 安曇野市教育長）
⇒義務教育での取り組みは評価。ご指摘の視点については同感。（内堀参与）
- この会での発言は組織を代表するものではなく、個人の意見ととらえてよいか。（宮澤 安曇野市長）
⇒これからのこの地域の教育のあり方について、忌憚のないご意見をいただきたい。（駒瀬係長）
- 高校改革に県民がどれだけ関心を示しているか疑問。県教委が汗をかいて地域に出向き、県民の皆
様のご意見を聞けば、そこからおのずと方向は出てくると考えるがいかか。（宮澤 安曇野市長）
⇒これまでに地域懇談会や意見交換会等を行い、「実施方針」を策定した。今後も、地域の方々のご意
見を伺う会を設けたいと考えている。（駒瀬係長）
- この通学区は特色ある私立高校が多い。また、就学支援金により、経済的負担は公立高校とさほど
変わらない状況である。こういった私立高校の動向について、どのようにお考えか。（内藤 松本市
P T A 連合会会長）
⇒次回、私立高校に係る資料をお示しする。私立高校の動向も踏まえたご議論をいただきたい。（駒瀬
係長）
- 職業高校の教材（施設、設備）がそろっていない。学習環境の整備についてどのようにお考えか。
（宮澤 安曇野市長）

⇒専門高校に限らず、全ての高校で学習環境整備は喫緊の課題と認識。(駒瀬係長)

○県教委は、出された意見に対し、責任持って回答していただけるのか。(宮澤 安曇野市長)

⇒この会は、この地域の高校のあり方、学びについてご意見・要望をいただくもの。いただいた要望については最大限尊重。会議の場で出されたご意見については、その場で回答できるものについて回答。(駒瀬係長)

○スケジュールありきで進めるのではなく、県民の皆様理解や納得を得られる努力をしてもらいたい。(宮澤 安曇野市長)

○少子化のために再編整備をするのなら、各地域に住む子どもたちのために規模の小さな高校を作っていく方が良く考える。(菅谷 松本市長)

○「高校改革」の理念を知り、大変素晴らしいと感じた。スピード感を持って進めてほしい。少子化による学級減の課題については、私立高校も巻き込んで議論していただきたい。(小口 塩尻市長)

○今の高校教員が、「キャリアデザイン力」等を、子どもたちにつけさせる能力を持っているのか疑問。教員の研修が急務であると考え。(菅谷 松本市長)

⇒教員と理念を共有し、ともに「高校改革」の方向に進んでいくこと、そのために必要な研修機会を設けることの重要性を認識。今後も努力していく。(内堀参与)

○普通科にも多様な子どもたちがいる。これまでの普通科の学びは、社会と切り離されていたが、特色をどう打ち出すかが課題。(中村 安曇野市中学校長会長)

⇒同感。偏差値という軸に対して、特色化・魅力化という軸を作ることによって、子どもたちの学校選び、世間の学校を見る目を多様化していきたい。(内堀参与)

○少子化の中でも、定時制・通信制は生徒のニーズがある。「高校改革」の中に取り上げられていないのが残念。(井上 松本商工会議所会頭)

⇒「実施方針」に多部制・単位制高校の充実・拡大、通信制の改革についてお示ししている。今後も様々な資料提供し、ご説明させていただく。(駒瀬係長)

※荒井座長による論点整理

- ①「高校改革」の理念の共有方法
- ②義務教育と高校の関係
- ③普通校と専門校、定時制・通信制の関係
- ④私立高校の存在
- ⑤教員の質、研修の必要性
- ⑥合意形成の図り方

(2)今後の進め方について

○事務局より提案

⇒松本・塩尻・安曇野の3か所だけで住民説明会をすれば、村は端に寄せられる感じになる。人口の多い都市のみ重視する考え方でよいのか。(宮澤 安曇野市長)

⇒5村への対応は共同事務局で検討させていただく。(宮澤 主幹指導主事)

7 その他(特になし)

8 閉会